

（参考）

## 平成27年3月期 第2四半期連結決算概要

平成26年 11月5日  
三井化学株式会社  
(単位：億円)

## 1. 損益状況

	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増 減	平成26年 3月期実績	平成27年3月期業績予想 (11/5発表値)	
					通 期	増 減
売 上 高	7,316	7,760	444	15,660	16,230	570
営 業 利 益	110	186	76	249	400	151
経 常 利 益	107	194	87	225	380	155
当 期 純 利 益	10	74	64	△ 251	140	391

## 2. セグメント別 売上高・営業利益

## ・売上高

(単位：億円)

	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増 減			平成26年 3月期実績	平成27年3月期業績予想 (11/5発表値)	
			計	数量差	価格差		通 期	増 減
機能化学品	778	1,052	274	264	10	1,904	2,200	296
機能樹脂	810	857	47	20	27	1,767	1,770	3
ウレタン	763	750	△ 13	△ 39	26	1,638	1,620	△ 18
基礎化学品	2,041	1,652	△ 389	△ 469	80	3,762	3,460	△ 302
石化	2,413	2,908	495	268	227	5,524	6,030	506
フィルム・シート	394	405	11	2	9	799	840	41
その他	117	136	19	19	-	266	310	44
合 計	7,316	7,760	444	65	379	15,660	16,230	570

## ・営業利益

(単位：億円)

	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増 減				平成26年 3月期実績	平成27年3月期業績予想 (11/5発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通 期	増 減
機能化学品	79	78	△ 1	21	△ 8	△ 14	150	165	15
機能樹脂	74	72	△ 2	19	△ 20	△ 1	119	145	26
ウレタン	△ 41	△ 35	6	△ 2	3	5	△ 52	△ 35	17
基礎化学品	△ 80	△ 44	36	△ 15	16	35	△ 174	△ 75	99
石化	98	123	25	9	10	6	253	240	△ 13
フィルム・シート	9	17	8	7	△ 5	6	9	30	21
その他	△ 6	3	9	-	-	9	△ 6	5	11
全社費用等	△ 23	△ 28	△ 5	-	-	△ 5	△ 50	△ 75	△ 25
合 計	110	186	76	39	△ 4	41	249	400	151

## 3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増 減	平成26年 3月期実績	平成27年3月期業績予想 (11/5発表値)	
					通 期	増 減
資 産 売 却 益	0	2	2	25	2	△ 23
受 取 保 険 金	-	-	-	41	-	△ 41
固定資産処分・売却損	△ 9	△ 15	△ 6	△ 23	△ 40	△ 17
減 損 損 失	-	△ 18	△ 18	△ 5	△ 18	△ 13
事業構造改善費用	-	-	-	△ 368	-	368
そ の 他	△ 15	△ 2	13	-	△ 14	△ 14
合 計	△ 24	△ 33	△ 9	△ 330	△ 70	260

## 4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H26/3末	H26/9末	増減		H26/3末	H26/9末	増減
流動資産	7,771	7,798	27	有利子負債	5,813	5,762	△ 51
有形固定資産	4,258	4,239	△ 19	その他負債	4,413	4,301	△ 112
無形固定資産	722	688	△ 34	自己資本	3,528	3,712	184
投資等	1,571	1,628	57	少数株主持分	568	578	10
資産計	14,322	14,353	31	負債純資産計	14,322	14,353	31

(NET D/Eレシオ) (1.44) (1.39) (△ 0.05)

## 5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	平成26年3月期 第2四半期			増減	平成26年 3月期実績			平成27年3月期 業績予想 (11/5発表値)	増減
	平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増減		平成26年 3月期実績	平成27年3月期 業績予想 (11/5発表値)	増減		
営業キャッシュ・フロー	345	151	△ 194	435	510	75			
投資キャッシュ・フロー	△ 799	△ 168	631	△ 898	△ 460	438			
(フリーキャッシュ・フロー)	(△ 454)	(△ 17)	(437)	(△ 463)	(50)	(513)			
財務キャッシュ・フロー	680	△ 117	△ 797	669	△ 300	△ 969			
その他	14	5	△ 9	56	-	△ 56			
現預金等増減	240	△ 129	△ 369	262	△ 250	△ 512			
現預金等残高	690	583	△ 107	712					

## 6. 主要指標

		平成26年3月期 第2四半期			増減	平成26年 3月期実績			平成27年3月期 業績予想 (11/5発表値)	増減
		平成26年3月期 第2四半期	平成27年3月期 第2四半期	増減		平成26年 3月期実績	平成27年3月期 業績予想 (11/5発表値)	増減		
研究開発費	億円	153	158	5	336	320	△ 16			
減価償却費	億円	230	237	7	481	480	△ 1			
設備投資額	億円	768	191	△ 577	1,132	480	△ 652			
(企業買収除く)	億円	(208)	(160)	(△ 48)	(538)	(450)	(△ 88)			
金融収支	億円	△ 17	△ 16	1	△ 33	△ 40	△ 7			
期末有利子負債残高	億円	5,889	5,762	△ 127	5,813	5,600	△ 213			
Net D/Eレシオ	倍	1.33	1.39	0.06	1.44	1.35	△ 0.09			
期末従業員数	人	14,431	14,345	△ 86	14,271	14,250	△ 21			
為替レート	円/US\$	99	103	4	100	105	5			
国産ナフサ価格	円/KL	64,700	70,400	5,700	67,300	67,700	400			
連結会社数	社	137	138	1	135	137	2			



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuiichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 小澤 敏

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	775,959	6.1	18,579	69.1	19,428	81.3	7,364	616.3
26年3月期第2四半期	731,604	7.5	10,985	642.7	10,716	—	1,028	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 21,336百万円 (12.6%) 26年3月期第2四半期 18,941百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	7.36	—
26年3月期第2四半期	1.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	1,435,260	428,919	25.9	370.74
26年3月期	1,432,162	409,647	24.6	352.41

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 371,159百万円 26年3月期 352,843百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
27年3月期	—	2.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,623,000	3.6	40,000	60.6	38,000	68.7	14,000	—	13.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】6ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	1,022,020,076 株	26年3月期	1,022,020,076 株
27年3月期2Q	20,882,768 株	26年3月期	20,788,036 株
27年3月期2Q	1,001,180,875 株	26年3月期2Q	1,001,553,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、以下のとおりネットコンファレンス及び経営概況説明会を開催する予定です。各説明会の様子を説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成26年11月5日(水)……機関投資家・アナリスト向けネットコンファレンス
- ・平成26年11月19日(水)……経営概況説明会

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
①通期業績予想の修正とその理由について	
②配当予想の修正について	
(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(2) 会計方針の変更	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

**(全般的状況)**

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日の6ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復、ヨーロッパでの緩やかな景気持ち直しの動きが継続する一方、中国や新興国では景気拡大のテンポが鈍化しています。日本国内においては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動からの持ち直しの動きは続いているもののそのテンポは鈍く、依然として力強さは感じられない状況が継続しております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当四半期	7,760	186	194	74
前年同四半期	7,316	110	107	10
増減額	444	76	87	64
増減率(%)	6.1%	69.1%	81.3%	616.3%

**売上高**は、前年同四半期に比べ444億円増(6.1%増)の7,760億円となりました。これは、主に石化事業におけるプラント稼働率上昇による増販や、機能化学品事業での昨年度譲り受けた歯科材料事業の増販による販売数量増加の影響が65億円あったこと、ナフサなどの原燃料価格上昇による販売価格の改定や、円安による販売価格改善等の影響が379億円あったことなどによるものです。

**営業利益**は、前年同四半期に比べ76億円増(69.1%増)の186億円となりました。これは、主に機能化学品事業や機能樹脂事業における増販に加えて、固定費の減少があったことなどによるものです。

**経常利益**は、前年同四半期に比べ87億円増(81.3%増)の194億円となりました。これは、営業利益の増加に加え、為替差益の増加等の影響により、営業外損益が前年同四半期に比べ11億円改善したことによるものです。

**特別損益**は、前年同四半期に比べ9億円悪化の33億円の損失となりました。これは、撤去費及び減損損失を計上したことなどによるものです。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ78億円増(93.8%増)の161億円となりました。

**四半期純利益**は、法人税等及び少数株主利益を控除した結果、前年同四半期に比べ64億円増(616.3%増)の74億円となり、1株当たり四半期純利益金額は7.36円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

**(機能化学品)**

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ274億円増の1,052億円、売上高全体に占める割合は14%となりました。一方、営業利益は、増販効果はあったものの固定費の増加等により、前年同四半期に比べ1億円減の78億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

**歯科材料**事業は売上高の拡大に貢献したものの、譲受に伴うのれんの償却が発生しております。

**ヘルスケア材料**のメガネレンズ用材料、**衛生材料**の不織布、**農薬**等は、海外の需要拡大等を受けて販売を拡大しました。

**(機能樹脂)**

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ47億円増の857億円、売上高全体に占める割合は11%となりました。一方、営業利益は、需要拡大への的確な対応を行ったものの、原料価格高騰の影響により、前年同四半期に比べ2億円減の72億円となりました。以上により、セグメント全体で

は、増収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、北米での需要拡大があったものの、原料価格高騰による交易条件悪化により、収益が減少しました。

**機能性コンパウンド**製品は、円安効果及び北米・アジアを中心とする自動車用途の需要拡大に的確に対応したことにより、収益を拡大しました。

また、**特殊ポリオレフィン**についても、円安効果及びスマートフォンを中心とした電子情報関連用途の需要に的確に対応し、収益を拡大しました。

#### (ウレタン)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ13億円減の750億円、売上高全体に占める割合は10%となりました。営業損失は、ポリウレタン材料の海外市況下落があったものの、円安等の影響により、前年同四半期に比べ6億円改善の35億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・営業損失の改善となりました。

**コーティング材料**は、海外での需要拡大により収益を拡大しております。一方で、**ポリウレタン材料**は、主要用途である家具向けの低調及び市況低迷の継続により、厳しい状況が続いております。

#### (基礎化学品)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ389億円減の1,652億円、売上高全体に占める割合は21%となりました。営業損失は、連結子会社の範囲変更及びフェノールのアジアでの同業各社の定期修理の集中等による交易条件改善を受け、前年同四半期に比べ36億円改善の44億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・営業損失の改善となりました。

依然として、**フェノール**、**高純度テレフタル酸**等は、需要の回復遅れ及び中国市況の低迷を背景に厳しい状況が続いております。

#### (石化)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ495億円増の2,908億円、売上高全体に占める割合は37%となりました。また、営業利益は、売上増、ブタジエン等の副産物の市況改善及び交易条件の改善により、前年同四半期に比べ25億円増の123億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーが前年同四半期を上回って稼働しました。また、北中米の自動車生産台数の増加等により、海外事業の収益が拡大しております。

#### (フィルム・シート)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ11億円増の405億円となり、売上高全体に占める割合は5%となりました。また、営業利益は、高付加価値製品の拡販、円安効果及びコスト削減努力により、前年同四半期に比べ8億円増の17億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

**包装フィルム**は、今年度初めに販売価格を改定したものの、原料価格の上昇、消費増税・価格改定前の需要増の反動及び天候不順による需要減により、収益が減少しております。

**電子・情報用フィルム**は、スマートフォンを始めとした高付加価値分野における需要拡大及び円安効果により、収益を拡大しております。

**太陽電池用シート**は、新製品の拡販及びコスト削減に努めたものの、競争激化に伴う販売価格の下落等厳しい事業環境により、収益が減少しております。

#### (その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ19億円増の136億円、売上高全体に占める割合は2%となりました。また、営業損益は、前年同四半期に比べ9億円改善の3億円の利益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ31億円増の1兆4,353億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ163億円減の1兆63億円となりました。また、**有利子負債**は51億円減の5,762億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.5ポイント減の40.1%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ194億円増の4,290億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ1.3ポイント増の25.9%となりました。

以上により、当期末の**ネット有利子負債（有利子負債－現預金）／自己資本比率（ネットD／Eレシオ）**は、前期末に比べ0.05ポイント減の1.39となりました。

**(キャッシュ・フローの状況)**

当四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ129億円減少し、当四半期末には583億円となりました。

**・営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ194億円減の151億円となりました。これは主として、仕入債務の減少や在庫の増加等による運転資金の増加などによるものです。

**・投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ631億円減の168億円となりました。これは主として、前年同四半期の歯科材料事業の譲受などによる支出の影響がなくなったことなどによるものです。

**・財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動によって使用された資金は、117億円となりました。これは主として、有利子負債の返済を行ったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

**①通期業績予想の修正とその理由について**

平成26年8月1日に公表いたしました連結通期業績予想につきましては、平成26年11月5日発表の「第2四半期業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて、以下のとおり修正を行っております。

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期105円/\$（10月～3月107円/\$）、国産ナフサ価格は通期67,700円/kl（10月～3月65,000円/kl）を前提としております。

営業利益、経常利益及び当期純利益は、石化事業及び基礎化学品事業における交易条件の改善及び固定費の減少などにより、前回発表予想数値から増加する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	16,800	350	310	120	11.99
今回修正予想(B)	16,230	400	380	140	13.98
増減額(B-A)	△570	50	70	20	
増減率(%)	△3.4	14.3	22.6	16.7	
(ご参考)前期末実績 (平成26年3月期)	15,660	249	225	△251	△25.10



**(セグメント別の見通し)**

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高								合 計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	2,210	1,810	1,820	3,740	6,120	850	250	—	16,800
今回修正 予想	2,200	1,770	1,620	3,460	6,030	840	310	—	16,230
増減額	△10	△40	△200	△280	△90	△10	60	—	△570

(単位：億円)

	営 業 利 益								合 計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	その他	全社 費用等	
前回発表 予想	165	145	10	△90	195	10	△5	△80	350
今回修正 予想	165	145	△35	△75	240	30	5	△75	400
増減額	—	—	△45	15	45	20	10	5	50

**②配当予想の修正について**

平成27年3月期の中間配当につきましては、無配予想としておりましたが、上期業績が当初予想を上回ったため、当社グループの経営状況を勘案し、1株あたり2円の配当といたします。

平成27年3月期の期末配当予想につきましては、前回発表どおり1株あたり3円といたします。これにより、1株あたりの年間配当予想は、2円増加の5円となります。

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	—	—	—	3.00	3.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	3.00	5.00
当 期 実 績	—	2.00	—	—	—
(ご参考)前 期 実 績 (平成26年3月期)	—	3.00	—	—	3.00

(4) 当四半期の連結業績予想と実績値との差異に関する情報

**(業績予想数値と実績値との差異)**

平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績について、平成26年8月1日に公表しました業績予想と下記のとおり差異が生じております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,700	160	130	40	4.00
実 績 値 (B)	7,760	186	194	74	7.36
増 減 額 (B-A)	60	26	64	34	—
増 減 率 (%)	0.8	16.1	49.4	84.1	—
(ご参考) 前年第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	7,316	110	107	10	1.03

**(差異の生じた理由)**

営業利益、経常利益及び四半期純利益は、主に石化事業及び基礎化学品事業において交易条件が改善したこと及び固定費の減少などにより、前回発表予想数値を上回る結果となりました。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (2) 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付に係る負債が2,190百万円減少、退職給付に係る資産が1,237百万円減少、投資有価証券が85百万円減少、利益剰余金が868百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	71,979	60,116
受取手形及び売掛金	296,492	290,045
たな卸資産	301,158	329,093
繰延税金資産	9,828	9,741
未収入金	89,677	81,532
その他	8,653	9,974
貸倒引当金	△772	△787
流動資産合計	777,015	779,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	330,822	333,337
減価償却累計額	△221,602	△225,138
建物及び構築物(純額)	109,220	108,199
機械装置及び運搬具	1,011,771	1,024,085
減価償却累計額	△885,662	△898,921
機械装置及び運搬具(純額)	126,109	125,164
土地	159,674	160,005
建設仮勘定	20,799	20,171
その他	70,400	71,823
減価償却累計額	△60,362	△61,478
その他(純額)	10,038	10,345
有形固定資産合計	425,840	423,884
無形固定資産		
のれん	34,935	33,459
その他	37,275	35,334
無形固定資産合計	72,210	68,793
投資その他の資産		
投資有価証券	108,620	111,888
退職給付に係る資産	13,036	16,388
繰延税金資産	5,448	5,441
その他	30,919	29,933
貸倒引当金	△926	△781
投資その他の資産合計	157,097	162,869
固定資産合計	655,147	655,546
資産合計	1,432,162	1,435,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	219,849	205,942
短期借入金	121,967	138,714
1年内返済予定の長期借入金	41,188	31,705
コマーシャル・ペーパー	15,000	—
1年内償還予定の社債	13,000	10,000
未払法人税等	4,455	4,755
役員賞与引当金	42	39
修繕引当金	12,324	8,776
事業構造改善引当金	2,337	2,448
その他	76,894	86,796
流動負債合計	507,056	489,175
固定負債		
社債	99,000	89,000
長期借入金	290,595	306,350
繰延税金負債	22,923	24,516
役員退職慰労引当金	295	288
修繕引当金	2,227	1,063
環境対策引当金	1,621	1,270
事業構造改善引当金	14,213	12,884
退職給付に係る負債	58,324	55,897
資産除去債務	3,770	3,921
その他	22,491	21,977
固定負債合計	515,459	517,166
負債合計	1,022,515	1,006,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	91,065	91,065
利益剰余金	149,287	157,517
自己株式	△14,341	△14,364
株主資本合計	351,064	359,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,678	19,716
繰延ヘッジ損益	△105	△292
為替換算調整勘定	6,551	9,352
退職給付に係る調整累計額	△21,345	△16,888
その他の包括利益累計額合計	1,779	11,888
少数株主持分	56,804	57,760
純資産合計	409,647	428,919
負債純資産合計	1,432,162	1,435,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	731,604	775,959
売上原価	636,239	660,928
売上総利益	95,365	115,031
販売費及び一般管理費	84,380	96,452
営業利益	10,985	18,579
営業外収益		
受取利息	138	179
受取配当金	1,644	1,959
持分法による投資利益	1,484	369
為替差益	152	1,824
その他	2,092	2,397
営業外収益合計	5,510	6,728
営業外費用		
支払利息	3,488	3,689
その他	2,291	2,190
営業外費用合計	5,779	5,879
経常利益	10,716	19,428
特別利益		
固定資産売却益	21	54
投資有価証券売却益	—	175
特別利益合計	21	229
特別損失		
固定資産処分損	841	1,507
固定資産売却損	16	—
減損損失	—	1,820
関連事業損失	23	—
事業撤退損	1,523	—
退職給付制度改定損	—	181
特別損失合計	2,403	3,508
税金等調整前四半期純利益	8,334	16,149
法人税等	4,789	5,698
少数株主損益調整前四半期純利益	3,545	10,451
少数株主利益	2,517	3,087
四半期純利益	1,028	7,364

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,545	10,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,558	3,182
繰延ヘッジ損益	119	△252
為替換算調整勘定	7,621	3,422
退職給付に係る調整額	—	4,467
持分法適用会社に対する持分相当額	3,098	66
その他の包括利益合計	15,396	10,885
四半期包括利益	18,941	21,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,412	17,473
少数株主に係る四半期包括利益	3,529	3,863

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,334	16,149
減価償却費	21,862	22,519
のれん償却額	1,162	1,207
減損損失	—	1,820
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△282	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	272
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1,498	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△365
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	△130
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△2,858	△4,712
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△476	△342
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,083
受取利息及び受取配当金	△1,782	△2,138
支払利息	3,488	3,689
持分法による投資損益 (△は益)	△1,484	△369
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	△79
固定資産除却損	335	392
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△54
売上債権の増減額 (△は増加)	33,903	9,745
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,805	△24,470
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,147	△15,884
その他	△2,014	13,777
小計	38,356	19,944
利息及び配当金の受取額	2,086	2,597
利息の支払額	△3,886	△3,777
法人税等の支払額	△2,035	△3,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,521	15,148
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,205	△15,986
有形固定資産の売却による収入	138	223
無形固定資産の取得による支出	△758	△1,009
長期前払費用の取得による支出	△617	△420
投資有価証券の取得による支出	△5,732	△630
投資有価証券の売却及び償還による収入	107	2,441
事業譲受による支出	△50,203	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,398
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	375
その他	338	△422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,932	△16,826

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	71,005	15,367
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△15,000	△15,000
長期借入れによる収入	27,191	17,584
長期借入金の返済による支出	△15,033	△14,019
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△10,000	△13,000
少数株主からの払込みによる収入	681	92
自己株式の売却による収入	3	2
自己株式の取得による支出	△22	△27
配当金の支払額	△3,005	—
少数株主への配当金の支払額	△2,757	△2,662
その他	△60	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,003	△11,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,414	482
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,006	△12,929
現金及び現金同等物の期首残高	44,996	71,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,002	58,281



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	77,842	80,971	76,282	204,064	241,297	39,377	719,833	11,771	731,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,225	8,793	1,623	13,338	75,278	1,304	102,561	29,493	132,054
計	80,067	89,764	77,905	217,402	316,575	40,681	822,394	41,264	863,658
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,859	7,367	△4,146	△7,965	9,790	919	13,824	△516	13,308

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,824
「その他」の区分の損失(△)	△516
セグメント間取引消去等	△11
全社費用等(注)	△2,312
四半期連結損益計算書の営業利益	10,985

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	機能 化学品	機能 樹脂	ウレ タン	基礎 化学品	石化	フィルム・ シート	計		
売上高									
外部顧客への売上高	105,187	85,657	74,986	165,175	290,768	40,523	762,296	13,663	775,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,129	9,725	1,537	15,912	76,399	1,549	107,251	31,627	138,878
計	107,316	95,382	76,523	181,087	367,167	42,072	869,547	45,290	914,837
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,807	7,197	△3,525	△4,442	12,273	1,730	21,040	331	21,371

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	21,040
「その他」の区分の利益	331
セグメント間取引消去等	△147
全社費用等(注)	△2,645
四半期連結損益計算書の営業利益	18,579

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。